

当健康保険組合の平成23年度事業計画と予算が、先日開催された組合会において可決・承認されました。みなさんと事業所（会社）から納めていただく保険料、および当健康保険組合の保健事業の説明をまじえながら、予算のあらましについてお知らせいたします。



## 平成23年度より保険料率を引き上げます。

厳しい財政状況のもと、より健全な予算を編成するため、平成23年度（平成23年3月分保険料より適用）から保険料率を1000分の4引き上げて、1000分の68にすることとなりました。

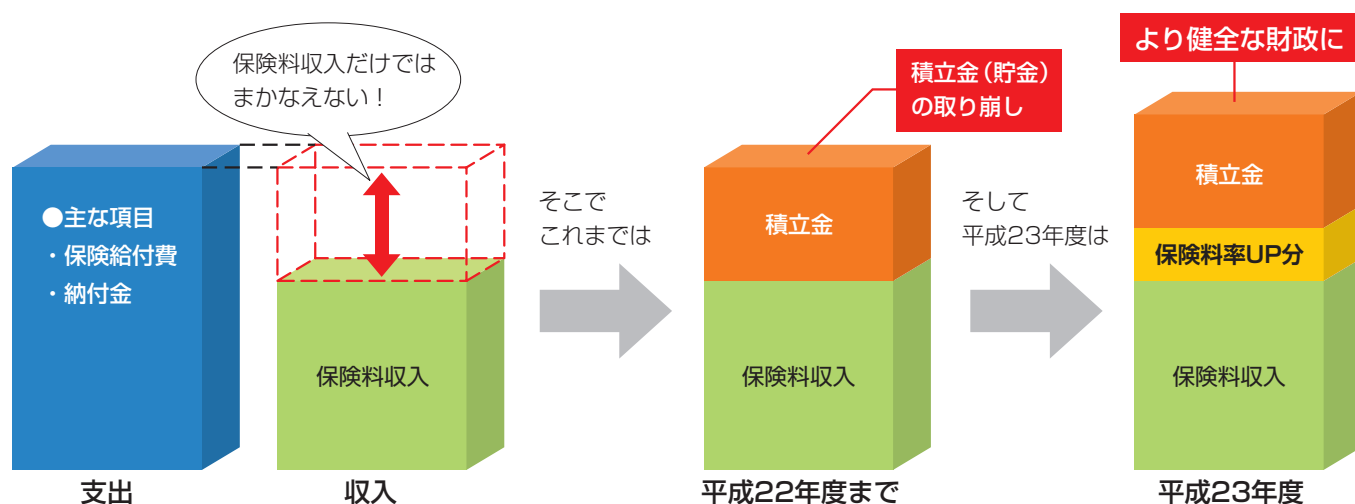
安定した組合運営を図るため、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

### Q. なぜ保険料率を引き上げるのですか？

**A. 高齢者の医療を支える「納付金」の増加等により、従来の保険料率では必要な費用をまかなえない状態にあるからです。**

当健康保険組合の実質的な保険料率（納付金等を含み保険給付等の必要費用をまかなうために必要とする保険料率）は、1000分の92.15（平成23年度予算ベース）です。従来の1000分の64では必要な費用をまかなえない状態にありました。これまでと同様積立金の取り崩しで予算を編成していましたが、本来あるべき姿は、保険料収入の範囲内で支出をまかなうことです。平成23年度は、組合財政の健全化に向けて保険料率を引き上げることとなったのです。

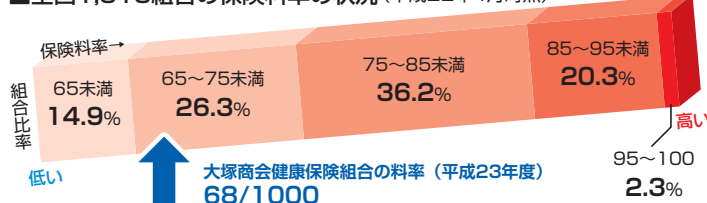
しかし、それでも14億円の積立金取り崩しが必要です。実に収入予算の25%にあたります。長期的な視野に立つて今後の健保運営・事業計画を推進しなければなりません。その状況をご理解いただければ幸いです。



### 保険料率は上がりますが、全国の健康保険組合（以下健保組合）の中でも低めの料率設定です。

当健保組合の料率は1000分の68になります。ただし、全国の健保組合や、健保組合が設立されていない多くの中小企業が加入する全国健康保険協会の保険料率（全国平均1000分の95）と比較するとかなり低い料率です。財政状況の悪化により、保険料率を上げる組合が大多数になっていることはマスコミ報道の通りです。

■全国1,313組合の保険料率の状況（平成22年4月時点）



## Q. 引き続いて低い保険料率を維持できますか？

### A. 健康を維持・増進して、医療費を減らすことがポイントです。

納付金の増加に対応して、更に保険料率の引き上げをすることが必要な状況です。今後積立金とのバランスなどを充分検討しながら調整をすすめます。一方、もうひとつの主な支出項目である保険給付費（病気やけがをしたときの医療費や手当金）は、健康の保持増進に努力していただくこと、医療費の賢い使い方をしていただくことで圧縮できる費用です。

当組合は保健事業の展開に注力し、厳しい財政状況下でも、新たな保健事業をスタートします。各種事業を活用し、健康を維持・増進して、医療費削減にご協力いただくようお願いいたします。

## 保健事業を利用して、健康をキープ&アップしましょう！

健康づくりをサポートする大塚健保独自の事業です。積極的にご利用ください。

### 健診事業

- 定期健診 **本** 35歳未満対象
- 人間ドック **本** **家** 35歳以上対象
- 主婦健診 **家** 35歳以上対象  
(※主婦健診、人間ドックのいずれかを選択)



年に1回定期的な健康チェックを必ず受けてください。健康保持増進のためにできることを考えるきっかけに。よりよい保健指導を行うためには、年内に受診をすませていただくことがなにより重要です。

健康をキープアップするための第一歩です。  
ぜひ、みなさんの協力をお願いします！

### 各種補助制度

- 婦人科検診 **本** **家** 35歳以上対象  
人間ドック・主婦健診と同時に受けることができます。
- 子宮頸がん **本** 35歳未満対象
- 大腸内視鏡検査 **本** **家** 50歳・55歳・60歳対象
- インフルエンザ予防 **本** **家**

### 保健指導・健康相談

健診データに基づき会社と協同して健康管理サポートをおこなっています。お気軽にご相談ください。



#### ● 生活習慣指導面談 **本**

全年代を対象として健診結果内容の説明をしながら、生活習慣病の進行を抑えるためにライフスタイルを振り返ります。

#### ● メタボ面談 **本**

40歳以上で内服をされていない方が対象で、動脈硬化性疾患のリスクが高い方を優先的に呼びしています。

#### ● ファミリー健康相談 **本** **家**

提携機関で24時間365日、フリーダイヤルでご相談いただけます。健康・メンタル等の電話・Web相談他、面談形式も可能です。

### 各種保養施設

- 直営保養所 **本** **家**
- 契約保養所 **本** **家**



### 各種健康セミナー

- 栄養セミナー **家**
- ベストウェイトプロジェクト **本**



### 情報誌など配布

- 笑顔 **家**
- すくすく赤ちゃん **本** **家**



### 禁煙チャレンジ

- 禁煙マラソン（3ヵ月） **本**
- 禁煙セルフチャレンジ（6ヶ月） **本**



### 運動しましょう！

- あるけあるけ運動 **本**
- 大宮運動場 **本** **家**



### 平成23年度新規事業

#### ① スポーツ施設利用補助 **本**

セントラルスポーツ施設の利用料を半額補助します。



#### ② 歯科予防健診補助 **本**

ブラッシングなど、予防のための指導中心に実施します。



# 平成23年度予算のポイント

## ■一般勘定

### ①収入

(単位：千円)

(単位：円)

| 科 目         | 予算額        | 被保険者1人あたり |
|-------------|------------|-----------|
| ①健康保険収入     | 3,851,363  | 445,244   |
| 調整保険料収入     | 76,359     | 8,828     |
| 繰越金         | 200,000    | 23,121    |
| ②繰入金        | 1,400,000  | 161,850   |
| 国庫補助金収入     | 3,004      | 347       |
| 特定健康診査等事業収入 | 14,520     | 1,679     |
| 財政調整事業交付金   | 40,001     | 4,624     |
| 雑収入         | 63,739     | 7,369     |
| 収入合計        | 5,649,987  | 653,178   |
| 経常収入合計      | 3,933,621  | 454,754   |
| 経常収支        | -1,487,895 | -172,011  |

### 決算基礎数値

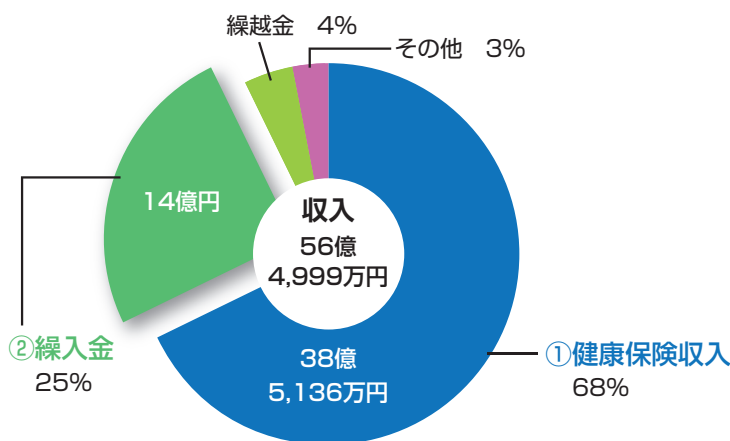
|       |        |          |          |
|-------|--------|----------|----------|
| 被保険者数 | 8,650人 | 平均標準報酬月額 | 415,600円 |
|       |        | 健康保険料率   | 1000分の68 |

### ②支出

(単位：千円)

(単位：円)

| 科 目       | 予算額       | 被保険者1人あたり |
|-----------|-----------|-----------|
| 事務費       | 150,434   | 17,391    |
| ③保険給付費    | 2,216,048 | 256,191   |
| ④納付金      | 2,234,989 | 258,380   |
| ⑤保健事業費    | 807,339   | 93,334    |
| 還付金       | 2,300     | 266       |
| 営繕費       | 5,600     | 647       |
| 財政調整事業拠出金 | 76,359    | 8,828     |
| 連合会費      | 2,206     | 255       |
| 積立金       | 5,000     | 578       |
| その他       | 3,500     | 405       |
| 予備費       | 146,212   | 16,903    |
| 支出合計      | 5,649,987 | 653,178   |
| 経常支出合計    | 5,421,516 | 626,765   |

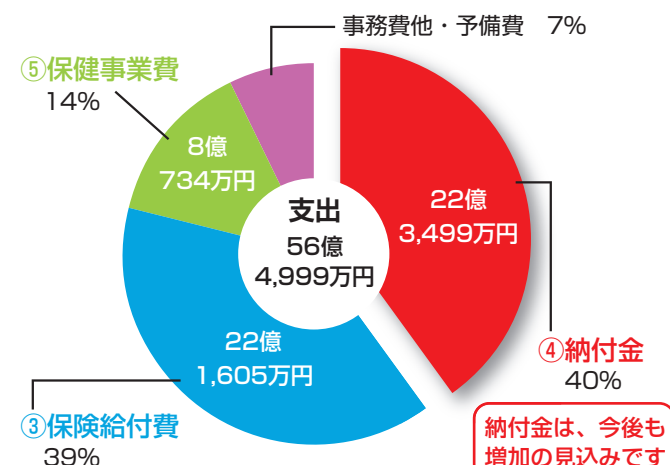


### ①健康保険収入

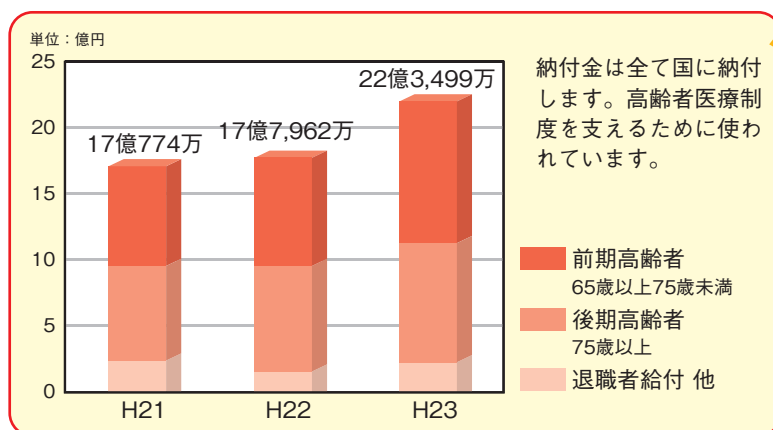
組合員と会社から納めていただく保険料で支出をまかなうのが本来です。

### ②繰入金

積立金14億円の繰り入れによって収支のバランスをとっています。



納付金は、今後も増加の見込みです



### ③保険給付費

病気やけがをした時の医療費・手当金として使われます。

### ④納付金

他制度への拠出金となります。多くの組合が赤字となっている原因です。

### ⑤保健事業費

健診・保健指導、各種補助制度、保養所利用補助金等健康づくりに使われます。

## ■介護勘定

### ①収入

(単位：千円)

(単位：円)

| 科 目      | 予算額     | 介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人あたり |
|----------|---------|-------------------------|
| 介護保険収入   | 296,974 | 75,279                  |
| 国庫補助金受入  | 0       | 0                       |
| 雑収入 利子収入 | 1       | 0                       |
| 収入合計     | 296,975 | 75,279                  |

### ②支出

(単位：千円)

(単位：円)

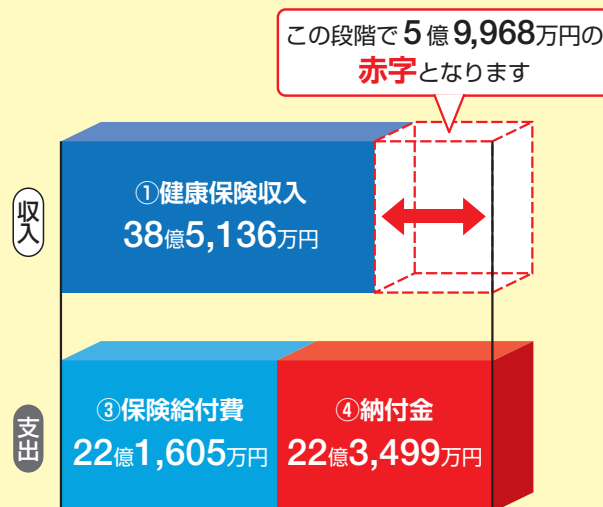
| 科 目      | 予算額     | 介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人あたり |
|----------|---------|-------------------------|
| 介護納付金    | 280,774 | 71,172                  |
| 介護保険料還付金 | 600     | 152                     |
| 積立金      | 15,601  | 3,955                   |
| 支出合計     | 296,975 | 75,279                  |

## 予算のあらまし

全国の健保組合は大変厳しい財政状況にあり、当健保組合も例外ではありません。その主な原因は、高齢者の医療制度を支えるための④納付金の負担の増加にあります。

みなさんと会社から納めていただく健康保険料が、健康保険組合の主たる収入です。今期の当組合の①健康保険収入は38億5,136万円。この範囲内で、当組合の事業を行うのが理想的な姿です。

健保組合の主たる支出は、みなさんとみなさんのご家族が病気やけがをしたときの医療費や手当金などの③保険給付費で、22億1,605万円です。そして、それと並び大きな支出が、高齢者医療制度を維持するための費用となる④納付金(前期高齢者納付金・後期高齢者支援金・退職者給付拠出金)で、22億3,499万円です。④納付金は法に定められた算式に基づいて算定され、全額を国に納付しなければなりません。



当組合の③保険給付費と④納付金を合計しますと44億5,104万円となり、①健康保険収入38億5,136万円のみではまかないきれないことがわかります。

③保険給付費は組合員のみなさんが健康保持増進に努められること、医療費の賢い使い方を徹底していただくことで縮小することが可能です。

しかし④納付金については、高齢化が進む中で制度(法律)がかわらない限りは、今後もより強く健保組合の財政を圧迫することが予測されます。健康保険組合の財政が困窮しているのは、まさにこうした状況が起きていることです。

現状に鑑み、保険料率を上げさせていただくことといたしました。

### 今期予算のポイント

- 保険料率を1000分の64から68に引き上げる
- 将来に備えて保健事業を今後も充実させていく
- 保険料だけではまかなえない支出を補うため積立金から14億円を繰入れる

- これまで足りない保険料を補うために、積立金を取り崩してきました。しかし積立金には限りがあります。今後さらに増加する納付金による支出増にどうやって対応するか考えなくてはなりません。
- 当組合の保険料率は、今回の引き上げ(1000分の68)でもまだ低率です(協会けんぽ1000分の95)。収入と支出のバランス、今後の社会情勢などを考慮し、さらに保険料率を引き上げることを検討する必要があります。
- もちろん、組合員のみなさんの健康度がより増進することで、現在と将来にわたって医療費を抑える努力を継続してゆくことが重要です。今後も健康づくりをサポートする各種保健事業には力を入れてゆきます。
- そうした考え方にたって⑤保健事業費は8億734万円の予算を組んでいます。
- 将来を見据えつつみなさんのご協力をいただきながら適切な運営を行って行くことが必要なのです。